

令和8年度 国分寺市校長会

I 活動方針・重点事項等

- 「国分寺学の充実・発展に向けて」
- コミュニティ・スクール及び小中一貫教育の推進
- 誰一人取り残さない教育の充実

国分寺学:次代の国分寺市を担う子どもたちが、市民の方々の地域に対する思いを受け止め、主体的に地域と関わる、地域に根差した探究的な学習

II 活動・取組

1 学校経営研修

学校経営を担う人材育成を目指し、年間を通して実施

- (1) 開講式 令和8年5月12日(火) 講話 国分寺市教育委員会学校指導課長
対象:副校長、教育管理職選考受験者、受験予定者、任用審査対象者 計42名
- (2) 論文指導 市内の校長2名が担当して実施 (経営研担当が担当の割り振りを計画)
- (3) 面接指導 受験者につき2回実施 受験時期に合わせて設定 (7月~10月)
- (4) 閉講式 令和9年2月 講話 国分寺市教育委員会教育長(予定)

2 コミュニティ・スクールの充実

令和7年度で市内すべての学校がコミュニティ・スクールとなった。コミュニティ・スクールとしての取組の充実が求められており、校長会としても重点としている。11月には、コミュニティ・スクールフォーラムを実施し、市内小・中学校15校の学校運営協議会委員が集まり、会場校の報告やテーマに沿っての協議を行ってきた。今年度と来年度は、中学校区ごとに、市教育委員会、教員、学校運営協議会委員、関係保護者等が集まって開催する予定である。

フォーラム 日時:令和8年11月11日(水) 15時00分~16時30分

テーマ:「持続可能なコミュニティ・スクールの在り方」

3 小中一貫教育の推進

- (1) 「コミュニティ・スクール推進事業」(令和8年度より) 旧 小・中連携教育推進事業
従来の連携教育推進事業の内容を引き継ぎながら、中学校区を中心として国分寺型コミュニティ・スクールの推進する。各中学校区で「国分寺学」の充実に向けて地域教材の活用や地域との連携の視点を取り入れながらテーマを決めて交流会を年1回以上実施し、授業参観のほか、分科会で教員が情報共有と指導の工夫・改善について協議する。
- (2) 市教育研究会での小中一貫教育の取組

市教育研究会は、小・中学校の教員で各教科等の部会を組織し、義務教育を見通した小中9年間において育む資質・能力を研究の視点とし、授業研究を通して授業力の向上を図る。

III 地区の特色

東京都の多摩地域中部に位置している水と緑に彩られた文化都市である。昨年(令和7年)1月に市役所新庁舎が開業し、新たな歴史を歩み始めている。市内最大行事である「国分寺まつり」は、武蔵国分寺公園において、毎年盛大に行われている。「国分寺学」の一環として、子どもたちの学びの発表の場として本まつりを活用する学校も増えてきている。

